



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月17日

上場会社名 株式会社 ツルハホールディングス
 コード番号 3391 URL <http://www.tsuruha-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴羽 樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 大船 正博
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月6日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 011-783-2755
 平成26年1月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年5月16日～平成25年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	183,682	6.5	11,975	2.3	12,714	△2.7	7,502	3.8
25年5月期第2四半期	172,508	7.0	11,702	21.1	13,069	29.4	7,229	31.1

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 7,839百万円 (△3.2%) 25年5月期第2四半期 8,098百万円 (45.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	314.75	311.18
25年5月期第2四半期	306.31	303.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	172,302	110,490	63.7	4,603.14
25年5月期	162,708	104,138	63.7	4,351.24

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 109,818百万円 25年5月期 103,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	50.00	—	80.00	130.00
26年5月期	—	65.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年5月16日～平成26年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	362,000	5.5	23,500	6.8	24,311	2.1	13,728	2.0	576.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年11月21日開催の取締役会で決議いたしました、株式会社ハーティウォンツの株式取得による子会社化に伴う連結業績に与える影響については、現在精査中ですが、現状の見通しの変化がある場合は速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	24,031,034 株	25年5月期	23,996,934 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	173,774 株	25年5月期	189,398 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	23,834,772 株	25年5月期2Q	23,602,999 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年5月16日～平成25年11月15日）における経済情勢は、輸出や生産などにおいて回復の動きがみられ、個人消費の持ち直しへの期待が高まっているものの、景気回復の実感には至っておらず、海外景気の下振れリスクなどもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。ドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が引き続き激化しているほか、生き残りをかけた企業の統合・再編への動きがさらに強まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループではコンサルティングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、戦略的な営業施策を実施いたしました。

具体的には、お客様のニーズに対応する高付加価値商品のコンサルティング販売に注力したほか、高品質で低価格のプライベートブランド商品「M's one（エムズワン）」の積極的な展開、再来店の促進や販売点数の増加を意識した新たな販促手法の導入などが功を奏しました。上期においては大型台風の上陸や長雨などの天候不順による影響があったものの、既存店売上高は前年を上回る実績となりました。

店舗展開につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より51店舗の新規出店と11店舗の閉店を実施いたしました。また、平成25年8月16日付で㈱ウエダ薬局の完全子会社化により14店舗がグループに加わったほか、平成25年7月1日付でかねまん薬局総本店マルモ薬品㈱の3店舗、および平成25年10月1日付で㈱かもめの15店舗の事業譲受を行いました。この結果、当第2四半期末のグループ店舗数は直営店で1,146店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

	前期末 店舗数	出店	閉店	子会社化等	純増	第2四半期末 店舗数	うち 調剤薬局
北海道	328	10	7	-	3	331	59
東北	350	20	-	-	20	370	59
関東・甲信	326	17	3	3	17	343	98
中部・関西	18	1	1	14	14	32	5
中国・四国	52	3	-	15	18	70	16
国内店舗計	1,074	51	11	32	72	1,146	237

上記のほか、海外店舗11店舗、FC加盟店舗1店舗を展開しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,836億82百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益119億75百万円（同2.3%増）、経常利益127億14百万円（同2.7%減）、四半期純利益75億2百万円（同3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて95億94百万円増加し、1,723億2百万円となりました。おもな要因は、新規出店に伴う棚卸資産と差入保証金等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて32億42百万円増加し、618億11百万円となりました。おもな要因は、新規出店に伴う買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて63億52百万円増加し、1,104億90百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と変わらず63.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて63億6百万円増加し、328億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、81億89百万円(前年同期比8.1%減)となりました。これはおもに、税金等調整前四半期純利益126億96百万円となったことと仕入債務36億73百万円の増加等のプラス要因、法人税等の支払額56億11百万円とたな卸資産34億51百万円の増加等のマイナス要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、5億98百万円(前年同期65億92百万円使用)となりました。これはおもに、有価証券の売却による収入50億円、新規出店に伴う差入保証金の支出24億82百万円、有形固定資産の取得による支出14億44百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、24億81百万円(前年同期9億36百万円使用)となりました。これはおもに、配当金の支払19億4百万円、借入金の返済8億25百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月18日公表の通期の業績予想に変更はありません。

(注) 平成25年11月21日開催の取締役会で決議いたしました、株式会社ハーティウオンツの株式取得による子会社化に伴う連結業績に与える影響については、現在精査中ですが、現状の見通しの変化がある場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,110	10,617
売掛金	8,155	9,115
有価証券	29,499	32,299
商品及び製品	44,406	48,100
原材料及び貯蔵品	16	8
繰延税金資産	1,813	1,863
短期貸付金	86	21
その他	6,287	5,419
流動資産合計	102,376	107,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,507	8,583
機械装置及び運搬具(純額)	2	2
工具、器具及び備品(純額)	2,902	3,592
土地	2,487	2,749
リース資産(純額)	89	72
建設仮勘定	196	125
有形固定資産合計	13,185	15,124
無形固定資産		
のれん	9,765	9,713
ソフトウェア	309	275
その他	120	257
無形固定資産合計	10,195	10,246
投資その他の資産		
投資有価証券	11,691	12,366
長期貸付金	38	27
繰延税金資産	514	631
差入保証金	22,933	24,215
その他	1,834	2,303
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	36,950	39,483
固定資産合計	60,331	64,855
資産合計	162,708	172,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,421	40,367
短期借入金	838	572
未払金	5,381	5,078
未払法人税等	5,153	4,798
賞与引当金	2,132	2,291
役員賞与引当金	365	191
ポイント引当金	1,063	1,060
その他	1,040	974
流動負債合計	52,396	55,335
固定負債		
繰延税金負債	3,500	3,698
退職給付引当金	425	460
役員退職慰労引当金	15	—
資産除去債務	906	955
その他	1,325	1,361
固定負債合計	6,173	6,476
負債合計	58,569	61,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,260	7,334
資本剰余金	22,929	23,083
利益剰余金	67,133	72,731
自己株式	△779	△716
株主資本合計	96,543	102,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,048	7,385
その他の包括利益累計額合計	7,048	7,385
新株予約権	546	672
純資産合計	104,138	110,490
負債純資産合計	162,708	172,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)
売上高	172,508	183,682
売上原価	123,988	131,586
売上総利益	48,519	52,095
販売費及び一般管理費	36,817	40,120
営業利益	11,702	11,975
営業外収益		
受取利息	77	90
受取配当金	69	73
備品受贈益	181	393
受取賃貸料	50	55
受取補償金	388	47
受取保険金	541	9
その他	84	81
営業外収益合計	1,392	750
営業外費用		
支払利息	7	6
貸倒引当金繰入額	18	0
その他	0	5
営業外費用合計	26	11
経常利益	13,069	12,714
特別利益		
固定資産売却益	0	—
新株予約権戻入益	73	—
特別利益合計	74	—
特別損失		
固定資産除却損	59	13
固定資産売却損	—	0
減損損失	676	—
リース解約損	2	—
投資有価証券評価損	24	—
その他	6	4
特別損失合計	769	18
税金等調整前四半期純利益	12,374	12,696
法人税、住民税及び事業税	5,245	5,254
法人税等調整額	△100	△60
法人税等合計	5,144	5,194
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	7,502
四半期純利益	7,229	7,502

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	7,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	868	336
その他の包括利益合計	868	336
四半期包括利益	8,098	7,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,098	7,839
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,374	12,696
減価償却費	1,050	1,111
減損損失	676	—
のれん償却額	549	574
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△203	158
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△163	△173
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38	35
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	135	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△15
受取利息及び受取配当金	△146	△163
受取補償金	△388	△47
受取保険金	△541	△9
支払利息及び割賦利息	7	6
備品受贈益	△181	△393
固定資産除却損	59	13
固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	24	—
新株予約権戻入益	△73	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△351	△874
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,543	△3,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,074	3,673
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△40	△202
その他	56	696
小計	13,415	13,632
利息及び配当金の受取額	107	117
保険金の受取額	541	9
補償金の受取額	388	47
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△5,534	△5,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,910	8,189

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△0
定期預金の払戻による収入	3	—
有価証券の取得による支出	△5,000	△5,000
有価証券の売却による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,067	△1,444
有形固定資産の売却による収入	20	—
ソフトウェアの取得による支出	△103	△70
投資有価証券の取得による支出	△0	△153
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	4
事業譲受による支出	—	△1,132
貸付金の回収による収入	11	75
差入保証金の支出	△1,157	△2,482
差入保証金の返還	627	720
その他	75	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,592	598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	838	572
短期借入金の返済による支出	△1,120	△1,054
長期借入金の返済による支出	—	△342
リース債務の返済による支出	△17	△18
新株発行による収入	729	121
自己株式の売却による収入	126	145
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,470	△1,904
その他	△23	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936	△2,481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,382	6,306
現金及び現金同等物の期首残高	33,111	26,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,493	32,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は平成25年11月21日開催の取締役会において、広島県を中心とした中国地方でドラッグストアと調剤薬局を展開する株式会社ハーティウォンツ（以下、「ハーティウォンツ」といいます）の株式を取得することについて決議し、同日株式会社リサ・パートナーズの100%子会社である株式会社リサ・キャピタル・マネジメントが運営するリサ・コーポレート・ソリューション・ファンド2号投資事業有限責任組合（ハーティウォンツの株式の56%を所有）との間で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ハーティウォンツ

事業の内容 ドラッグストア、調剤薬局の経営

(2) 企業結合を行うおもな理由

ハーティウォンツは、広島県を中心とした中国地方に計140店舗（平成25年11月15日現在）のドラッグストア「Wants」と調剤薬局「ウォンツ薬局」を展開し、中国地方では業界トップクラスの規模と知名度を誇っているなど、着実に成長を続けております。ハーティウォンツの店舗展開は広島県や山口県を中心に圧倒的なドミナント化を実現しており、中国地方では鳥取県や島根県を中心基盤とする当社グループの店舗展開とは非常に優れた補完関係にあります。また、同社はお客様からの信頼感を大切に考え、ヘルス&ビューティケアへのお客様のニーズやウォンツに応えることを事業経営の核として、地域から頼りにされ地域になくしてはならないドラッグストア創りを目指しており、当社グループの「お客様の生活に豊かさと余裕を提供する」という経営理念を共有し、その実現に取り組むことのできる企業であると判断いたしました。

(3) 企業結合日

平成25年12月20日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 企業結合後の名称

株式会社ハーティウォンツ

(6) 取得する議決権比率

56.0%

(7) 取得企業を決定するに至ったおもな根拠

現金を対価とする株式取得

2. 被取得企業の取得原価およびその内訳

取得の対価 10,100百万円

取得に直接要した費用 27百万円

合計 10,127百万円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。